

NTT労組 沖縄県グループ連合会
2020年度末退職者説明会



退職者説明会(2月8日~9日) 手続き、無事終わる 4月から 新しい仲間が参加

2月8日~9日にNTT労組沖縄県グループ連絡会の主催で「2020年度末退職者説明会」が開催されました。NTT労組退職者の会からは渡嘉敷直久会長と金城章事務局長が出席し、退職者の会への入会案内などを行いました。また電通共済担当、こくみん共済のマイカー担当、アフラックの担当者も同席しました。特に、沖縄分会の役員、各部会の福祉担当役員の皆様の丁寧な説明により手続きなど無事終了することができました。

支部協だより

第193号

発行所
NTT労組退職者の会
沖縄県支部協議会
沖縄県浦添市城間4-35-1
NTT城間ビル7F
TEL.098-870-7101
FAX.098-875-7450
責任者
会長 渡嘉敷 直久

比例全国区「石橋みちひろ」 組織内候補の擁立決定!

2月10日開催されたNTT労組第26回中央委員会において、2022年7月に行われる第26回参議院議員選挙に、働く者の環境改善やICT活用促進、社会保障の充実、沖縄の基地問題の取り組みなど2期10年の活動実績をふまえ、比例全国区に「石橋みちひろ」を組織内候補として擁立を決定しました。

前回の第25回参議院議員選挙「吉川さおり」の獲得票(14万3472票)から見て、大変厳しい選挙戦が想定されます。また、今年中に行われる衆議院議員選挙は、来年の参議院議員選挙の前哨戦として大変重要な選挙となります。より一層の現・退一致の取り組み強化が求められます。

国会論戦のポイント分かりやすく

石橋みちひろ参議院議員が解説
【みちひろばオンライン配信中】



チャンネル登録して視聴しよう!▲

新規会員の紹介

12月~1月

- ・ 嶺間 恵誠 (浦添市)
- ・ 慶田城久子 (浦添市)
- ・ 宮城 英正 (糸満市)
- ・ 屋嘉比康広 (那覇市)



支部協の歴史と共に二十五年

***支部協だよりを振り返る

支部協だより創刊号は1995年1月1日である。創刊当時は会員数も少なく、発行部数も少なかったようです。

全電通沖縄県支部のコピー機を借用してプリントしていたとのこと。年4回発行が2004年まで、2005年頃からは年6回から12回に発行回数が増えています。1999年に組織名が「全電通退職者の会」から「NTT労組退職者の会」へ変更されました。

記事の内容は創刊当時から、年間行事、総会の案内、グラウンドゴルフ等のイベント案内、史跡巡り、サークル活動紹介、地区協の取り組み紹介、電通共済等関連の契約更新案

内、年会費の徴収案内、中央協等の会議模様、全国集会、平和フォーラム模様の掲載。平和活動においては、沖縄ピースアスティー、広島、長崎、北方領土返還運動に積極的に参加している記事も多く、近年は「辺野古新基地建設反対」の記事が多いです。現・退一致とした、国政選挙、沖縄県知事選挙、那覇市長選、沖縄県議会選挙、那覇市議選の取り組みもタイムリーに掲載されています。

今後は「会員のコーナー」を充実させていきたいと思っています。文化欄(俳句、短歌、川柳、琉歌、エッセー、写真)への投稿を是非お願いいたします。
事務局長 金城 幸男

投稿

コロナ禍の夫婦

コロナの影響でモアイもダメ、飲みにもいけず夜は夫婦で過ごす時間が増えた。またまた「助を承知で」実際にあった会話を採録します。
夕食のあと、妻が「ちそうさまでした、今日も1日ありがとうございました」と云うから、つい私も「神様、ちそうさまでした、罪深い私をおゆるし下さい」と云った。妻「あんた、いつも悪いことをしているの。わたしは毎日悪いことをしている人に食事あげているのか」
夜、TVを見ていて韓国のKポップとかのグループを見ながら……私「あいや、最近の男は「皆ちゆらかーぎー」だな、僕があんな願っていたら、どうなっていたかねー」妻「毎日、家にいないで遊んでいたはずよー」私「今は家にいるから、ワンは「やなかーぎー」なのか。」妻「そつよ、まだわからないの。私「君は「やなかーぎー」と結婚したのか。」妻「そつですよ、私はあんたと違って顔は気にしないの。相手の顔はどうだっていいの。」

192号で案内しましたが、
「生き生き通信」は毎回、会員ヘイインタビュウを行っていますが、会員の元気な活動や近況を紹介しており、最も人氣のあるコーナーです。

*これ以上、妻と話してこないと
余計血圧があがるので、
私は黙って寝た。

沖縄市ピースラン 25回記念大会成功を目指す

渡嘉敷 直久

沖縄市平和月間(8月1日〜9月7日)の初年度から、沖縄市ピースランは平和月間の一環で市民参加型のイベントとしてスタートし、24回大会を2019年10月に開催した。25回記念大会を2020年に計画、新型コロナウイルスの影響で延期したが、コロナ禍をはねのけて実施と決めている。



ピースランに参加した全電通(当時)の仲間

中心になって仲間が協力し、分会の走ろう会「あつちやーず」が2回大会まで平和の礎から沖縄市運動公園横の平和モニュメントをゴールにタスキリレーで走り次いだ。3回大会以降は他の走ろう会も参加して実行委員会で実施。全電通沖縄初代委員長桃原用行さんが書かれた碑文がある復帰記念闘争碑の前で、午前5時30分平和の誓いを読み上げるなどの出発式を行った後に辺戸岬をスタート、平和の礎からの二つのコースが平和モニュメントを目指した。参加費を徴収して、牛汁で交流し、室川青年団のエイサーで大いに盛り上げるなど活動してきた。近年は沖縄市役所前をスタート、嘉手納基地を包囲するように回り、登川の平和モニュメントにゴールして楽しく交流会をする。

ピースランには私たちの組合員多数が参加してきたが、25回記念大会には是非多くの仲間が参加して頂きたい。お待ちしております。

ただ今現役

自治会の会長担って30年 糸満言葉と共に

「さんでー」は元気

崎浜 盛次さん 78歳

(さきはま・せいじ)



●何時から、自治会長をやっているんですか。

○NTTにいた時からだから、かれこれ30年かな。

●崎浜さんは郵政受け入れで復帰前に琉球電々に入社、糸満電報電話局に配置された。

○NTTになって糸満営業所が廃止されるまで勤務、その後、牧志ビルでのマイライン担当、61歳の退職時は営業担当(楚辺ビル)だった

●郵政から電電公社に入ってからどうでした。

○電電公社は天国だよ、福利厚生を含めて労働条件が郵政に比べて良いんだ。組合が強いとこも違うかと思っただね。

●糸満営業所ではずっと班長やっていましたね、分会の執行委員会でもよく会いました。

○あの頃は役員の皆さんにお世話になりました。

●巷の話によると、崎浜さんは「さんでー」と呼ばれている。

○そうなんだよ、実は名前が2つあるんだ。今でいう「わらびな」だ。糸満のメンパーは今でも僕に「さんでーさんでー」と言うんだ。

●崎浜さんは1942年生まれのだから、俗にいう「艦砲の食えーぬくさー」だ。戦時中、親は盛次さんを背中におんぶして、糸満周辺を避難したらしい、いまでも親には非常に感謝していると云う。26歳で妻の恵美子さんと結婚、子供4名孫1人に囲まれている。

●人口1千所帯の新屋敷区の自治会長をやっている。純粹の糸満人(いとまん・ちゅ)とあって、今も糸満なまり(?)は健在だ。

●糸満から出た事ないって、何やっているんですか。



たとか。

○そうなんだよ、実は名前が2つあるんだ。今でいう「わらびな」だ。糸満のメンパーは今でも僕に「さんでーさんでー」と言うんだ。

●崎浜さんは1942年生まれのだから、俗にいう「艦砲の食えーぬくさー」だ。戦時中、親は盛次さんを背中におんぶして、糸満周辺を避難したらしい、いまでも親には非常に感謝していると云う。26歳で妻の恵美子さんと結婚、子供4名孫1人に囲まれている。

○人口1千所帯の新屋敷区の自治会長をやっている。純粹の糸満人(いとまん・ちゅ)とあって、今も糸満なまり(?)は健在だ。

●糸満から出た事ないって、何やっているんですか。

○だからよう、あまり出ないんだ。趣味は三線をやって18年なります。新人

賞はとりました。体調はそこそこいいです。酒はそこそこかな。(だいたい、濁していた)

●対談後、自治会会館の敷地で咲いている、桜・椿など樹木を案内してくれた。いつも着ているスーツはNTT営業時代からのものだそうだ。来年は80歳だが、絶好調だ。

聞き手 特派員

金城 幸男

幹事 喜久里艶子

■訂正とお詫び

前号の「知花賢宜さんの記事の中で「感謝状が県から贈られた」とありましたが、表彰状の間違いでした。訂正してお詫びします。

